

## CAVOK 2015年航海日誌 NO1

( 4月15日(水) 日本出発 ~ 5月7日(木) Khania)

松崎義邦氏メール(5月10日)

皆様に

早いもので、今年で6年目のヨーロッパでの航海になりました。

今年は越冬先のクレタ島アギオス・ニコラウスより5月4日にスタートしました。ヴェネチア時代の町並みを残すクレタ島を西に進み、その後ペロポネソス半島に渡りスパルタ、ミストス、オリンピア遺跡を訪問しながらエリザベートがこよなく愛したと云うコルフ島までギリシャを航海する予定です。コルフ島からイオニア海を横断してイタリアに入り、イタリア半島の南端の靴のヒールの部分に沿って航海し、シシリー島に7月頃到着する予定です。

約1か月ほどギリシャ時代からの歴史の入り混じったシシリー島の遺跡を見ながら綺麗な海と食を楽しみたいと思っています。特に島の西北にあるトロペアはイタリアチームのアメリカズカップのキャンプ基地だったので寄るのが楽しみです。

シシリー島からはダイレクト、サルデーニャ島に渡ります。サルデーニャ島でも約1か月間コスタ・スメラダを中心に美しいエメラルド海岸を楽しみたいと思っています。そしてコルシカ島から南仏に入りコートダジュールに艇を越冬させ今年の航海の終着点にしたいと思っています。今年の航海は3年前に航海したところをコースを変えて戻るようになりますが寄れなかったところや、又行ってみたいところを中心に計画しました。

現在クレタ島の西の旧ヴェネツァポートのハニアに入港しています。丁度良いシーズンで観光客もそれ程多くなく、又日中は夏、夜は春と云う感じでとっても凌ぎ易気候です。

ハニアはヴェネツァ時代の面影を残す美しい町で中世の港に停泊している錯覚を起こすような素敵な港です。天候の関係もあり暫くここで係留した後ペロポネソス半島に渡る予定です。

今年も海を楽しみ、歴史を訪ねて、そして人との出会いを大切に航海を楽しみたいと思っています。

航海中に慶応ヨット部の春季関東インカレの完全優勝の吉報を聞くことも出来、幸先良いスタートになりました。

今年も安全航海を念頭に楽しみたいと思っておりますので皆様の応援よろしくお願い致します。

Khaniaにて

松崎義邦

以下の写真を添付させていただきます。

1 . アギオス・ニコラウスで上架中の CAVOK5



2 . アギオス・ニコラウス ビーチ風景



3 . クレタ島 ピグロス村



4 . ディーア島での錨泊



5 . 海から見たレフカオリ山



6 . ハニア港のヴェネチア時代の灯台



## 7 . ゲストの Lisa とタベルナで



## 8 . ハニア港での CAVOK 5



## 2015 年 CAVOK 航海日誌

2015 年 4 月 15 日 (水) 快晴

朝 5 時起きで逗子発 6 時 16 分の横須賀線で成田に向かう。今回はビザの関係もあり半年間ビザなしで渡航出来る 2 国間協定のあるオーストリアから EU に入国することにした。

11:20 成田発オーストリア航空でウィーンに 11 時間のフライトで行く。

16 時前に到着して、ホテルの前の NH ウィーンホテルに空港から荷物をカートに載せてそのままチェックインする事が出来たので大変便利だった。

早速サウナに入り疲れた体を休ます。18 時に毎年 CAVOK5 に乗船しているロシア人ピアニストの Lisa とホテルで待ち合わせて、ホテルのレストランで食事をする。スープとサ

ラダそして軽く豚のグリルを食べる。彼女も昨日米国帰りでお互いに疲れていたもので 20 時には解散する。

長い一日だったのでベッドで全身を伸ばして気持ち良く眠る。とはいっても時差の関係もあり時々目を覚ますが又直ぐ眠りに入った。

4月16日(木) 快晴

11 時発アテネ行きに乗る。アテネでクレタ島イラクリオン行に乗り換える。イラクリオン行が 40 分ほど遅れるアナウスがあったので迎えに来てくれる Davit に I pad から遅れる旨のメールを打つ。彼とは昨年マリーナで知り合った英国人だ。幸いさほどの遅れも無く 17 時過ぎに到着 Davit が迎えに来てくれたので 23kg2 個トランクケースを持っていたので助かった。

19 時前にマリーナに着くが未だ明るい。久しぶりに変わらない CAVOK 5 に再会しホッとす。

陸置きなので荷物を艇に引き上げるが Davit が手伝ってくれて助かる。

荷揚げの後、彼と近くの店でビールを飲む。ひと段落した後のビールは美味しい。

夜には、彼の女友達の Debbie と一緒に近くのバーで水割りを飲む。

Davit は私と同じ位の年だが色々良くしてくれる。

艇に戻ってからはシャワーを浴びてぐっすり寝心地の良い懐かしの艇のベッドで休む。

4月17日(金) 快晴

朝荷物の整理を若干してからこれからの段取りを考える。一番の課題は船底の塗料だ。

船底塗料は有害物質が入っているのでサンダーをかけるのも完全武装、そして艇をカーテンで囲って作業をしなければならない。自分で作業をしようかと思っていたが、45ft の艇を自分でやるには少し大変なので業者に頼むことにした。又ネビーブルーの色の船体の艶が無くなってきたのでポリッシュもお願いすることにした。

Davit に相談したところ、ここの業者で良い仕事をするという Udo を紹介してくれた。

因みに値段は 1700€だった。

午後 Davit がお昼を誘いに来てくれフェリー乗り場の港が良く見える景色の良い 2 階のレストランで昼食をとる。

昨年もクレタで一緒だった Tom と Caroline 夫妻、Davit と彼女の Debbie、友人の Janet、もう一人友人、そして Frank と 8 人で食事する。

戻ってからインターネットキーのチップを買いに行き、その後今年初めての海水浴をする。外での気温は 27 度位水温を測ると 19 だった。それ程寒く感じなかったが 10 分弱で上がる。Debbie も泳ぎに来た。

海水浴場のシャワーを浴びて帰る。生憎とマリーナのシャワーが出ず海水浴場で浴びてきて正解だった。

夕食は空豆を茹でてラーメンとビールで済ませます。

4月18日(土) 快晴

土曜日だがペイントの作業をしてくれた。出来るだけ早く海に下ろしたい旨伝えたら努力してくれている。

今日も泳ぐ。コックピットの机のニス塗り一回目をする。

夜にカラオケに誘われて総勢10人ぐらいで行く。私は坂本九の“すき焼き”を歌う。皆さん“すき焼き”知っていて好評だった。

楽しい夜が過ぎて1時過ぎに戻る。

4月19日(日) 快晴

昨日飲み過ぎでお昼まで寝る。

午後からマリナー在籍の人達のBBQにDavitと参加する。私は近くの店でクラブサンドウィッチを仕入れ、それとそら豆を茹でて持って行く。空豆はこの辺りにはあるが北ヨーロッパではないので珍しく評判が良い。

集まりが少なく我々以外は2組の夫婦だけだった。

BBQの後2回目のニス塗りをする。

その後マリナーの前の店でTom夫妻、Debbie、Janet達が一杯やっていて誘われて一緒に飲む。夜も9時からの食事に誘われて皆さんで食事する。

食事して帰ると2時になっていた。

4月20日(月) 晴れ、曇り

レンタカーを午前中に借りる。ワーゲンのポロだが1日27€, 3日借りると60€という事なので3日間借りることにした。因みに空港でレンタカーの料金を聞いたら1日65€だった。

12時に待ち合わせて懐かしのMokhlos(マクロスの)シーフードレストランに行く。

皆さん素敵な場所と料理を喜んでくれる。

帰りにKritsa(キリツア)のオールドビレッジに寄る。日本人の奥さんのいる店に寄る。たいへん懐かしがってくれお話が続いた。

夜は9時からホテルのバーで皆さんと一杯楽しんだ。

非常に良く笑い、良くしゃべり、明るくて一緒に居て楽しかった。

4月21日(火) 晴れ 北風20ノット

朝いつものマリナー前の店でコンチネンタルブッレクファーストを取る。

3度目のコックピットのデスクを塗るためサンドをかけるが風が強いためニス塗りは諦める。

12時に今日帰るDavitの友達のサヨナラ昼食会を港の前のレストランに行く。今日帰る



3人がお世話になったということでお昼はご馳走になる。

楽しいひと時を過ごした後マリナーに戻り、今日マンチェスターに帰る Davit の友人をイラクリオン空港迄送って行く。皆さんと一緒に過ごした3日間は大変楽しかった。

夜は Tom 夫妻といつものマリナー前のタベルナで一杯やる。

4月22日(水) 晴れ

今朝もいつもの店で朝食をとる。午後から風が強くなる予報なので午前中にデスクの三回目のニス塗りをする。今回ニス塗りは3回で終了とした。

昼はラーメンで済ます。午後デビットと Eluda までエンジンオイルと修復用の白テープを買いに行く。ここは殆ど何でも揃う店だ。

その後 Tom 夫婦、デビットとビールを店で飲む。

残りのハルの傷をパッチペイントで修復する。パッチ当ての化粧だ。

夕食は8時過ぎにラ・ストラダに行く。ラ・メールサラダとムール貝のリゾットを白ワインで食べる。この店は前回も来た店で覚えていてくれた。比較的美味しくお値段も手ごろなお気に入りのイタリアン料理のお店だ。

4月23日(木) 晴れ

一昨年ロードス島で知り合ったイタリア人の Cristina と連絡を取る。昼過ぎに彼女が艇に来る。フェンダーの洗いを手伝ってくれた。レンタカーで彼女が借りているアパート迄送って行く。

例の Udo に 20m のチェーンを注文する。60m では足りないときがあるので 10mm の太さのチェーンを 20m たして 80m の長さにした。

Udo はスイス人でクレタに住んで20年、クレタの自宅を売ってヨットを買ってそこに住んでいる。偶然にも CAVOK5 の隣だった。

4月24日(金) 晴れ

チェーンが届き繋げる。

午後愈々 CAVOK5 の下架だ。エンジン回り、速度計のペラ等点検する。

Tom に手伝ってもらう。彼は非常にフレンドリーでいつも笑顔を絶やさず気持ちの良い男だ。

ポンツーンに無事係留する。これでやっと海上生活になりホッとする。

夕方 Cristina が来て一緒に食事する。彼女の友人がギターを弾いているお店に行く。

Frank も来ていて一緒に飲む。

4月25日(土) 朝方雨、南の強風

朝食をアギオスの町中で取る。

朝方から南の強風が吹く。午前中ステンレスの部分をポリッシュする。お昼にラーメンに玉ねぎを入れて食べる。

午後ビミニを張る。スカイプで悦子としゃべってみるがこちらの声が上手く届かによろだ。

夕食をイストアの地元の人が行くタベルナで Cristina と取る。小魚が美味しかった。

夜マリーナの近くのカフェでインターネットをチェックしていたら Devit が入ってきて一緒に飲む。

#### 4月26日(日) 晴れ、南の強風

午前中に Cristina の案内で修道院を見学する。

帰ってからお昼をラーメンで食べる。日曜BBQがあるので2時過ぎに赤ワインを持って参加する。皆さんフレンドリーで楽しいひと時だ。

今日はオイルを交換する予定だったので艇に戻りエンジンルームを空けたら床寸前まで浸水している。一大事だ。

Udo に電話するが留守電になるので BBQ の場所に戻り、皆さんに相談する。

早速ヨットを良く知っている男を探してくれ艇を見てもらう。何のことはない速度計のペラの取り付けが甘かったなのでそこからの浸水だった。注意して取り付けつもりだったが陸の上で取り付けたので注意が足りなかったようだ。しっかり差し込んでからねじ込まなければいけなかった。3時間以上ビルジを回し排水する。結局完全に排水出来たのが21時になった。

疲れたのでステーキをラ・ストラードに食べに行く。柔らかくて美味しいステーキだった。

#### 4月27日(月) 快晴

本当に熟睡で良く寝られる。一日青空の中で動き回っているのと、船での眠りそして一番は世間を離れ思考回路が単純になってきたせいの様だ。

朝食はいつものようにマリーナ隣の店で取る。朝食のついでにここの Wifi でインターネットを使うのが日常になっている。

午前中にゲストが来るので布団干しや昨日浸水した後片づけをする。

12時に一昨年クラッチ故障でお世話になったここのメカニックの George と待合せてエンジン定期整備の打ち合わせをする。

David の艇でワインをご馳走になる。彼は今まで2回離婚しているが、理由は仕事が忙しかったのと自然とお酒の量が増えて奥さんが離れていったとの事だった。別れた奥さんは美人で今でも好きだそう。娘はフットボールで活躍していると自慢げにDVDを見せてくれた。

お昼はラーメンと浸水で少し濡れたインスタントの高野豆腐を食べる。



夕方浸水騒動もあり疲れたせいか眠くなり心地よいたた寝をする。

夕食を昨晚と一緒にラ・ストラーザに昨日と同じメニューのステーキを注文する。昨日美味しかったので連続になるがもう一度食べたかった。今日も柔らかく脂身も無く、美味しかった。生ビール、サラダ、ステーキで 24€なので安い。

浸水騒動があったのでビルジポンプの動きの回数を気にしながら眠りに就く。

ビルジポンプは水がある程度溜まると自動的に回る。

4月28日(火) 晴れ、強風

今日は悦子が来る日なので艇を清掃、洗濯をして来艇の準備をする。いつもの所でレンタカーを4日間借りる。

1時に悦子を迎えに空港に向かう。約40分の距離だ。風が強くて到着を心配したが定刻に到着した。元気な姿でいつもの悦子が出てきてホッとする。これからは二人での生活になる。

艇に着いてから荷物の整理をする。いつものメンバーがマリーナ脇のバーで集まっていたので悦子と挨拶に行く。皆さん悦子の到着を喜んでくれた。

今年の冬はどうするかと聞かれて南仏で越冬すると云ったところ是非クレタに戻るようラブコールをしてくれた。

明日CAVOK5でお寿司パーティーに皆さん招待した。

悦子は片づけした後、そのままぐっすり寝る。

こちらに来て初めてご飯を炊いて高野豆腐、梅干し、味噌汁、イワシのかば焼きで夕食を食べる。

4月29日(水) 快晴

久しぶりにCAVOK5で悦子と朝を迎える。今日は素晴らしい天気だ。

午前中車でスーパーに買い物に出かける。今日は寿司パーティーなのでその準備を悦子にする。

ビルジポンプが30分間隔で働くので何処から水がちょろちょろ入っているようなので調べる。当初浸水事件で残った水がちょろちょろビルジになって出てくるかと思っていたが原因は給水ポンプからの漏れだった。ぼたぼたとジョイントの部分から漏れていた。

応急処置でネジを締める。漏れは殆ど無くなったが完全に修復したとは言い難いので専門家に見てもらおう事にする。

Cristina から自宅での晩御飯のお誘いがあったが本日CAVOK5でパーティーなので逆に彼女を誘った。

悦子は上手にお稲荷さん、巻寿司、サーモンの握りを作る。皆さん気に入ってくれ綺麗に平らげてくれた。お酒も一升空けた。

楽しいパーティーだった。

4月30日(木)快晴

午前中に隣の艇で生活している Udo が来て給水ポンプの漏れを直してくれる。パッキングのゴムのリングを交換しただけで直った。

お昼に Cristina のアパートに行きお昼をご馳走になる。イタリア仕込みのパスタをご馳走になる。食後テラスで陽を浴びながらのうたた寝は気持ち良かった。

17時にウーンから Lisa が着くので空港に迎えに行く。元気な姿で再会する。

明日から欧州は3連休なのでレジャー客で満席だったそうだ。

艇で一杯飲みながら夕暮れを楽しむ。夕食はイカのソテー、サラダ、チキンカツレツを白ワインでご馳走になるがどれも美味しかった。

Lisa は興味を持ってクレタ島の観光を調べてきている。明日の予定も決めた。

5月1日(金)快晴

ゆっくりした朝食をとり、Kritsa に向かう。ここでいつもの日本人の居るお土産物屋さんに寄ってお話をしてから、山道をドライブしてダイクテオン洞窟のある盆地に向かう。ダイクテオンの洞窟はゼウスが父クロノスに飲み込まれないようにと母レイアがゼウスを生んだという伝説のある洞窟だ。盆地はかつて数千の風車があった所で、この時期リンゴの花、アモンドの花、黄色の綺麗な野花等々満開で素晴らしく美し牧歌的な光景だった。そして遠方の山には未だ雪渓が残っていた。

その後 Kera に向かい遅いお昼を食べる。Lisa が友人から肉が美味しいと聞いてきたところだ。確かにラムチョップ、ハンバーグは絶品であった。そしてお値段は3人で44€だった。

その後 Cristina のアパートに寄るがいなかったの下フロアの奥さんに電話をしてもらう。案の定近くの Pygros に居るとの事で行く。ここのカフェに彼女がいてクレタの観光について聞く。Pygros は山の中腹にある素朴なクレタの村だ。明後日一緒にドライブすることにした。

艇に8時前に戻りコックピットでナイトキャップをする。美しい夕暮れだ。この時期9時前まで明るい。遅いお昼にお肉をいっぱい食べたので夕食は抜いた。

5月2日(土)快晴

朝ジブセールを揚げてファーリングする。

昼前にクノッソスに出かける。最初にイラクリオンにある考古学博物館に行く。ミノア文明の遺産の殆どがここに収められている。ここは昨年秋にリニューアルしたが当時の高度な技術の遺産に圧倒される。紀元前2600年に開花したミノア文明は素晴らしい。

その後クノッソス宮殿を見て、昨日 Cristina に教わった Fourni にあるタベルナで夕食を食べる。全くクレタンの村でグリルバーガー、ラムチョップ、ダコス、グreekサラダ、

ズキーニのフライ、かたつむりを食べる。素朴な味で美味しかった。  
夜満月を見ながら一杯飲んで寝る。

5月3日（日）快晴

Cristina を誘ってクレタの南を4人でドライブする。

クレタ島の山岳地帯は緑とお花が綺麗で村の光景はイタリアに似ている。

彼女のお奨めの Keratokambos のタベルナでヒメジ、アジ、イカのグリルをツyajiki、サガナキ、タラモ、グreekサラダ、インゲンのトマト煮込みを食べる。新鮮な魚で美味しかった。彼女は地元の人が行く美味しくてそしてお値段の安い所に連れて行ってくれる。これにビールを飲んで4人で45€だった。

帰りに彼女のアパートに寄ってお茶をご馳走になり艇に戻る。

本来は2日出港を予定していたが1日はレイバーデイですべて休みなので結果的4日月曜日の出港予定に変更していた。

整備の関係で出港が遅れたが、逆に色々クレタの内陸部を観光することが出来て結果楽しめて良かった。

5月4日（月）Agios Nikolaos~Dia（40NM）快晴 南西10~5ノット

3連休が終わり、仕事が始まったのでホッとする。先ず頼んでおいたエンジン定期点検でオイルと燃料フィルター交換、エンジンとギアのオイル交換、インペラーの交換が12時過ぎに終わる。

ここのメンテナンスのGeorgeは2年前ここでクラッチ故障を直してくれた。信用のおける男でオイル含めて交換品はすべてヤンマーの純正でなければいけないということで取り寄せたので時間が掛かって今日になってしまった。

マリナーオフィスで支払いを済ましてお世話になったヨット仲間に挨拶して13時に出港する。今年初めての出港になるがお天気も快晴で風も微風でたいへん静かな海が迎えてくれた。

メンバーは毎年参加のロシア人ピアニストLisaと悦子と私の3人になる。

今日はイラクリオンの沖合にあるディーア島の入り江に錨泊する予定だ。昨年も錨泊したので様子は良く知っているが、出港が遅れたのと40NMあるので機走で全行程を走ることにした。

出港前に悦子がベーコン、トマト、目玉焼きの入ったサンドウィッチを作っておいてくれたので出港後直ぐランチを頂く。静かな海で青空に囲まれた中でビールにサンドウィッチは美味しかった。

7ノット維持しながらクレタ島の景色を見ながら走り、19時前にディーア島の入り江に入る。一艇も停泊してなく前回使用したトリパーボート用のブイに舫う。早速泳いでブイが大丈夫か確認する。水温は20であった。

この入り江には民家は勿論の事、明かりもなく、静かで星や月夜を楽しむには絶好の錨泊スポットだ。

夕食は新鮮なトマト、胡瓜、フェタチーズの入ったグreekサラダ、ポテトサラダ、そして豚肩ロースのガーリックソテーをクレタ産超ドライの赤ワインで頂く。最高な贅沢な夜を、ゲストを交えた3人で楽しんだ。

静かな入り江独占の幸せな今年の航海のスタートであった。

5月5日(火) Dia~Rethimno (36NM) 快晴 微風後北風10ノット

静かな一夜を過ごす。錨泊と云っても固定ブイに舫ったので安心してグッスリと寝た。

朝 Lisa が泳ぐが冷たかったようで直ぐ上って来た。底まで透き透き通った綺麗な海だ。

朝食後9時に舫いを解いてレシムノに向かう。

今日も海面は湖の様に静かだ。生憎と風が無い。今日も機走だ。

クレタ島は、幅は狭いが東西に長い島で260kmの長さがある。そしてレフカオリ山と云う標高2452mの山があり未だ山の上の方は白く雪渓がある。その山の景色を見ながらレシムノに向かう。お昼にダコスと云うクレタの代表的なメゼ、ラスクの上に刻みトマトとフェタチーズ、オリーブ、塩胡椒、オレガノ、刻み玉ねぎをのせた料理を頂く。白ワインが合う。

13時過ぎからやっと北風が吹き出したのでセーリングを始める。アビームで10ノットの北風で6ノット前後の速度で気持ち良く今年初セーリングを楽しむ。

約1時間でこの風も弱くなったので再度機走する。

予定通り15時過ぎにヴェネツィア時代の城塞を見ながらレシムノのマリーナに入る。昨年入った時は岸壁に横付けしたが今回は岸壁が一杯だった。ここはマリーナといってもスタッフは居なくて自分で適当な所に舫わなければならない。場所を探していると係留してあるヨットの上からこのヨットの隣が大丈夫と親切に声を掛けてくれる。槍づけでそこに15時40分に舫う。

悦子と Lisa は町の観光に行く。この町はローマ、ヴェネツィア、オスマン・トルコの支配を受けてきた城塞都市で中には沢山のお店がある。

彼女たちが出かけた後、水洗い等艇の片づけをする。

夕食は空豆で一杯飲んだ後、タイ風カレーを白ワインで頂く。ピリ辛で疲れた体にぴったりだった。

5月6日(水) Rethimno~Khaena (30NM) 快晴 微風

8時過ぎに朝食の後、9時丁度に出港する。今日も静かな海だが風が無い。

全行程機走になる。

未だこの時期出ているヨットも少なく1艇も会合しなかった。クレタの最高峰のレフカオリ山の頂の残雪が段々近く見えるようになる。

お昼にイタリア人の菜食主義の Cristina に教えてもらったナスとトマトソースで味付けしたスパゲティーを白ワインで頂く。静かな海の上での昼食は格別美味しい。

14:30 にヴェネチアポートのあるハニアにはいる。パイロットブックによると一番外側の岸壁に槍づけと書いてあったがその通りで、スタッフが来てレイドラインを取ってくれた。この岸壁は一般道路で前はお店が並んでいる。ヴェネチア時代の建物がそのまま残りそこを改装してお店をやっている所以風情がある。

町を散歩した後、一日中太陽の下に居て疲れたので昼寝をする。

夕食は Lisa が友人から聞いてきたという裏通りのお店で食事する。唐辛子のグリル、トマトと胡瓜のサラダ、カラマリのグリル、蒸しエビ、メインにイワシのグリル、グルパー（鯛の一種）のグリルを白のハウスワインで食べる。エビ、イカと魚はとっても新鮮でオリーブを使ったグリルは大変美味しかった。

Lisa の最後の日になるので艇に戻ってからメロンとハモンセラノをおつまみに彼女の持って来たシャンパンで乾杯する。

5月7日（木）快晴 Khania

朝5時に予約してあったタクシーが来る。彼女を見送ってから又寝床につく。

ゆっくり起きて朝食を艇の係留してある直ぐ前のレストランで食べる。Wifi を使うにも便利な場所だ。

ゲストが下船したのでシーツ、その他洗濯物をコインランドリーで洗濯する。その間に市場に行く。新鮮な魚が沢山あった。次に考古学博物館に行く。この辺りで発掘された遺跡が展示されていた。コインランドリーに戻り洗濯物を取り艇で干す。快晴で絶好の洗濯日和だ。

お昼に昨日のスパゲティーをビールで頂く。

午後は艇でゆっくりすることにする。前線の尻尾が通過するので天候と行程を調べて計画を練る。丁度ペロポネソス半島を挟んでエーゲ海側とイオニア海側では風向、風力が違う。そしてこれからのレグは丁度その間に行くことになるので変化を読むのが難しい。

夕方になりヴェネチアポートを囲んでいる城壁を散歩がてら歩く。岸壁沿いにずらりとレストランが並んでいる。昔の中世の華やかな時代を想像させる。

夕食は残りのタイ風カレーとポテトサラダを頂く。日没は8時20分なので9時まで明るい。一日が得した気分になる。